

26川健地推第60号
平成26年4月4日

市内各病院医院長 様
市内各病院事務（局・部）長 様

川崎市健康福祉局長 伊藤 弘

川崎市認知症連携情報提供書について（お知らせ）

日頃から本市の高齢者保健福祉施策の推進につきまして、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、医療と介護が一体となった相談・支援・連携体制を構築することで、認知症高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるまちづくりをめざし、平成23年度から、認知症サポート医養成研修修了者を中心に、川崎市医師会、川崎市看護協会、川崎市介護支援専門員連絡会、地域包括支援センター、川崎市により、「川崎市認知症地域支援連携会議」を開催してまいりました。

この会議では、認知症の地域支援について様々な検討をしてまいりましたが、昨年度は、川崎市認知症疾患医療センター（聖マリアンナ医科大学病院・日本医科大学武蔵小杉病院）も参加し、かかりつけ医と専門医療機関との連携の際の情報提供に資するために、「川崎市認知症連携情報提供書」を作成いたしました。

つきましては、情報提供書の様式をお送りいたしますので、認知症にかかる情報提供書として、御使用いただければと存じます。情報提供書のデータを御希望の場合は、下記担当までお問い合わせください。また、本書式につきましては、川崎市医師会を通じて、市内医療機関に周知していただく予定となっております。

（地域包括ケア推進室 武田・角野担当）

電 話 044（200）2470

FAX 044（200）3926

電子メール 35keasui@city.kawasaki.jp

川崎市認知症連携情報提供書について

認知症については、早期診断、早期治療することが重要であることから、かかりつけ医から認知症疾患医療センター等認知症専門医療機関への連携を進みやすくするためにこの情報提供書を作成しました。

使用方法

表面：各項目をチェックし、必要事項を記載して下さい。

裏面：改訂版 長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）

横浜家庭裁判所で成年後見申立時の診断項目に利用するなど、国内で広く用いられている認知症の簡易スクリーニング検査です。

改訂版 長谷川式簡易知能評価スケール検査のポイント

いきなり「もの忘れの検査をする」というのではなく、しばらく世間話などをしてリラックスさせ、「最近もの忘れが気になったりしませんか？」などから検査に入っていく。検査終了後も「疲れましたか？」と言葉をかけたり、嫌な気分を残さないように注意する。

質問 1. 年齢の見当識：数え年の場合もあるので2歳までは誤差範囲とする。生年月日が言えても年齢が言えなければ0点となる。

質問 2. 時間の見当識：「何月何日ですか？」「何曜日でしょう？」「今年は何年ですか？」とゆっくりと別々に質問しても構わない。

質問 3. 場所の見当識：具体的な名称でなくとも、現在いる場所がどのような場所か本質的にわかっていれば正答とする。自発的に答えられない場合5秒位おいてヒントをだす。

質問 4. 言葉の記銘：3つの言葉をゆっくり区切って発音し、3つを言い終わってから患者に繰り返すように促す。3つ全部覚えられない場合は、採点後もう一度覚えてもらうことを覚えるまで3回繰り返す。

質問 5. 計算：最初の質問が正答のときに「93から7を引くといくつですか？」と言わないことが大切。93を頭に浮かべながら7を引くことにより、同時に複数のことに気を配る注意分割力が障害されるアルツハイマー型認知症では誤答が多くなる。

質問 6. 逆唱：数字は1秒位間隔をあけてゆっくりと伝える。

質問 7. 言葉の遅延再生：自発的な答えを待つように、ヒントは1つずつ与えるようにする。

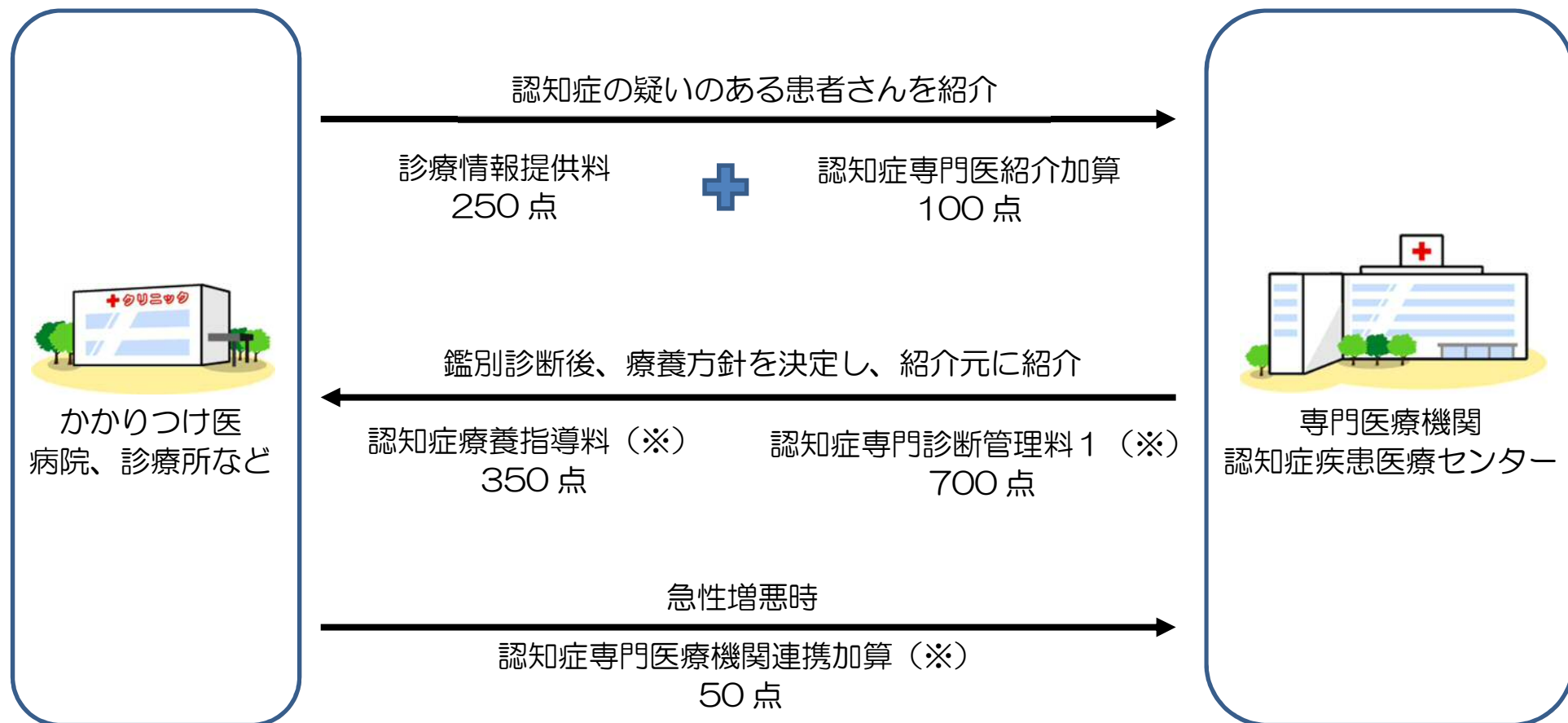
アルツハイマー型認知症で間違いやすい。質問6に集中してしまうため情報が保持できなくなる。

質問 8. 物品再生：1つずつ名前を言いながら物品を見せ、患者の前に並べ、1つずつ「これは？」と聞いて確認する。そのあと、それらを隠し「思い出す順番はどうでもよいですが、今ここに何がありましたか？」と質問する。

質問 9. 言葉の流暢性：「野菜の名前をスラスラ言えるか」という言葉の流暢性（前頭葉機能）をみる。重複しても遮らないで続けてもらう。

（川崎市の認知症ガイドブックより抜粋）

認知症におけるかかりつけ医と認知症疾患医療センターとの連携のための診療報酬上の評価（平成26年4月1日現在）



※かかりつけ医と認知症疾患医療センターが連携した場合に算定できる。
紹介と逆紹介が同じ医療機関であることが必要。